

指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理費	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	---------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山ジャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		
2 指定管理者			
名称	株式会社 札幌振興公社		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:4 複数施設を一括指定の場合、その理由:ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。		

業務の範囲	<p>【ジャンプ競技場】</p> <p>(1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務</p> <p>【ミュージアム】</p> <p>(1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務</p>
3 評価単位	<p>施設数:4</p> <p>複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため</p>

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																								
1 業務の要求水準達成度																											
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。</p> <table border="1" data-bbox="405 1323 1007 1671"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R2実績</th> <th>R3実績</th> <th>前年対比削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>1,310,667</td> <td>1,126,985</td> <td>86.0% △ 14.0%</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>13,742</td> <td>12,484</td> <td>90.8% △ 9.2%</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td> <td>2,626</td> <td>7,390</td> <td>281.4% 181.4%</td> </tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td> <td>177,500</td> <td>137,500</td> <td>77.5% △ 22.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R2実績	R3実績	前年対比削減率	電気使用量の削減	1,310,667	1,126,985	86.0% △ 14.0%	水使用量の削減	13,742	12,484	90.8% △ 9.2%	ガソリン・軽油使用量の削減	2,626	7,390	281.4% 181.4%	事務用紙使用量の削減	177,500	137,500	77.5% △ 22.5%	<p>管理方針に基づき、ジャンプ競技場への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。</p> <p>R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による休業がR2年度より期間が長かったため、電気・水使用量が減少した。燃料についてはR2年度は実施しなかった人工降雪機を稼働したため大幅に増加したが、紙使用量は、R2年度は8月に行われた無料キャンペーンがR3年度は11月～12月の閑散期に行われたこともあり、施設利用申込書印刷が減り紙、削減できた。今後も目標達成に向け各社員が環境への配慮を意識して取り組む削減に努めていきたい。</p>	<table border="1" data-bbox="1262 889 1449 913"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。R2年度は実施しなかった人工降雪機を稼働したため、燃料については大幅に使用量が増加したが、その他の項目は環境配慮について継続して取り組んでおり、評価できる。</p>	A	B	C	D
項目	R2実績	R3実績	前年対比削減率																								
電気使用量の削減	1,310,667	1,126,985	86.0% △ 14.0%																								
水使用量の削減	13,742	12,484	90.8% △ 9.2%																								
ガソリン・軽油使用量の削減	2,626	7,390	281.4% 181.4%																								
事務用紙使用量の削減	177,500	137,500	77.5% △ 22.5%																								
A	B	C	D																								

<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。</p> <p>計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。</p> <p>教育・研修計画に基づき研修等を実施した。</p> <p>AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。</p>	<p>計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。</p>	<p>職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。</p>																				
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。</p>	<p>今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題の改善に努めていきたい。</p>																					
<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。</p> <p>また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。</p>	<p>業務計画に沿って適正な再委託を行った。</p>																					
<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="405 898 1007 1547"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 実施せず</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><協議会メンバー></td> </tr> <tr> <td colspan="2">札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</td> </tr> <tr> <td>8/5</td> <td>第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>11/5</td> <td>第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>1/31</td> <td>第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>3/25</td> <td>第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><協議会メンバー></td> </tr> <tr> <td colspan="2">札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	協議・報告内容	-	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 実施せず	<協議会メンバー>		札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		8/5	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)	11/5	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)	1/31	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)	3/25	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等について)	<協議会メンバー>		札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者		<p>協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組んだ。</p> <p>次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で荒井山ジャンプ利用者連絡協議会は実施されなかったが、札幌市や関係団体との協議についても定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。</p> <p>特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。</p>
開催日	協議・報告内容																					
-	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 実施せず																					
<協議会メンバー>																						
札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者																						
8/5	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会 4月～6月までの業務報告(施設利用状況等について)																					
11/5	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 7月～9月までの業務報告(施設利用状況等について)																					
1/31	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 10月～12月までの業務報告(施設利用状況等について)																					
3/25	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 1月～3月までの業務報告(施設利用状況等について)																					
<協議会メンバー>																						
札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者																						
<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。</p> <p>現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。</p>	<p>適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。</p>																					

	<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。</p>	<p>お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。</p>	<p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っている。</p>								
	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。</p>	<p>過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。</p>									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。</p>	<p>適切な労務管理に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)に設置したAEDの点検等を行ったが、その使用についてAED講習はコロナウイルス感染症拡大の為、R3年度は実施しなかった。 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事業部内に掲示し緊急時に備えた。</p>	<p>計画に沿った管理運営の中で、個人情報の保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も慎重かつ安心・安全な施設運営を構築していきたい。 例年実施していたAED講習もR4年度からは再開したい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。			
A	B	C	D								
計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。											
	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 なお、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。 ※委託業務の内容については、別紙1のとおり</p>	<p>業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。</p>									
	<p>▽ 防災</p> <p>防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。(11月・3月) 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。(5月)</p>	<p>今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。</p>									

(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務</p> <p>①自主研修の場の提供(147校来場)</p> <p>②教育普及活動(特別展示9回、イベント13回) 特別展示9回のうち3回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、イベント13回のうち10回は同様の理由のため中止</p> <p>③実習の受入れ 北海道教育大学が博物館実習を予定していたもののコロナの影響によりキャンセルしたため、0校。</p> <p>④常設展示 1階競技用具紹介コーナー、2階ヴィジュアルヒストリーコーナーの展示等の変更を行った。(1階フィギュアスケート用具紹介コーナーにおいて渡部絵美氏の衣装を更新、2階ヴィジュアルヒストリーコーナーの2018年平昌大会の情報更新を始めとした展示更新)</p> <p>⑤校外学習(小学校64校、中学校1校、高等学校1校、大学1校で実施)</p> <p>⑥オリンピック・パラリンピック教育 札幌市教育委員会のオリ・パラ教育推進事業の研究校に指定された65校(昨年度53校)を対象に実施した。 実施にあたっては、ミュージアムの学芸員を中心に阿部館長や北海道オールオリピアンズから紹介を受けてオリピアン・パラリンピアンに講師を依頼し、各講演内容について個別に調整を行うことで、競技種別ごとの特長等を活かした授業となるよう努めた。 また、各学校とは児童の学年や地域等によって授業内容を事前に教諭と調整し、児童の興味を湧かせながらより理解を深める授業になるよう努めた。 なお、実施時期は6月からを予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響によりミュージアムが臨時休館となったため実施できず、6月11日～7月7日、8月26日～9月30日までに実施を予定していた学校は、10月以降に延期・日程調整を行った。</p> <p>⑦収蔵品データベース化 展示物・収蔵品の調査データを109件追加登録。(現在14,693件を登録)</p> <p>⑧収蔵品の収集・調査・研究・展示 ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示 ・冬季オリンピック北京大会関連資料の収集および調査・研究・展示(ミズノ株式会社、株式会社アフロ等) ・夏季オリンピック東京大会関連資料の収集および調査・研究・展示(公益財団法人日本オリンピック委員会等) ・寄贈された資料の調査研究(武田圭策氏、根子香代氏、植田研史氏等) ・オリピアン・パラリンピアン用具収集・展示(岡崎朋美氏、渡部絵美氏、渡部暁斗氏ほか)</p> <p>⑨館内イベント 「札幌オリンピック50周年記念事業」の一環として、市内の小中学生とその保護者を対象として、阿部雅司名誉館長の案内のもと、札幌オリンピックミュージアム館内を巡る『札幌オリンピック子ども絵画展&ミュージアムツアー』を実施。</p> <p>⑩OMN総会出席 10月にオンラインにて開催されたOMN総会に出席し、当館の現状と情報交換を行った。</p> <p>⑪スポーツミュージアムの連携によるスポーツガサシーの継承・啓発プロジェクト実行委員会への参加(文化芸術振興費補助金『地域と共働した博物館創造活動支援事業』) 秩父宮記念スポーツ博物館・日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアム、中京大学スポーツミュージアム及び当館の5館が連携し、文化遺産としてのスポーツ資料を継承・啓発するための連携プロジェクトを継続している。 本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況下におけるオンライン形式での打ち合わせや学生とのワークショップなどを通して、新たな生活様式の中でのスポーツミュージアムの可能性を議論した。 ※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり</p>	<p>R3年度は、上半期は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける状況の中で、計画していたイベントのほとんどが中止となったが、2年続くオリンピックイヤーに伴う展示会や札幌オリンピック50周年記念事業の一環としての特別展示会を実施することができ、多くのお客様に足を運んでいただくことができた。 H29年度から開始したオリ・パラ教育は1学期の実施がほとんど中止となったものの、下半期に延期・日程調整をして最終65校の学校を実施することができた。講師として招いたオリピアン・パラリンピアンと講演内容の調整やスライドの作成を行うとともに、各学校からの希望に合わせた学習となるよう、学芸員と教諭が密に連絡をとるようにし、好評価を得た。 次年度以降については、スポーツミュージアムの連携によるスポーツガサシーの継承・啓発プロジェクトなどの場を活用し、日本にあるスポーツ関連のミュージアム等との連携を深めることで、オリピズムの理念を市民により広く伝え、札幌へのオリンピック招致に向けた機運醸成につなげるよう努めたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1262 165 1305 210">A</th> <th data-bbox="1310 165 1353 210">B</th> <th data-bbox="1358 165 1401 210">C</th> <th data-bbox="1406 165 1449 210">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1262 217 1460 1464"> <p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えたほか、令和2年から設置している北海道オール・オリピアンズの拠点を活かし、来館者とオリピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えたほか、令和2年から設置している北海道オール・オリピアンズの拠点を活かし、来館者とオリピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>			
A	B	C	D								
<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えたほか、令和2年から設置している北海道オール・オリピアンズの拠点を活かし、来館者とオリピアン・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>											

	<p>▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めた。</p> <p>また、イベント・会議・展示会場として、競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。</p> <p>文科省より受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業(NTC)では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。</p>	<p>ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。</p> <p>NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していききたい。</p>	<p>個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設とし取り組みを継続している。</p>																																																																																																
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<table border="1" data-bbox="405 555 1007 1473"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2決算</th> <th>R3計画</th> <th>R3決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">大倉山ジャンプ競技場</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>1,303</td> <td>1,200</td> <td>1,097</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>80</td> <td>60</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>その他催物</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>本部棟会議室</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>テレビ中継装置</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>200,621</td> <td>427,000</td> <td>133,246</td> </tr> <tr> <td colspan="4">宮の森ジャンプ競技場</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>2,975</td> <td>3,000</td> <td>2,764</td> </tr> <tr> <td>競技利用回数</td> <td>151</td> <td>124</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>大会・公式</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>9,849</td> <td>30,000</td> <td>8,660</td> </tr> <tr> <td colspan="4">荒井山ジャンツェ</td> </tr> <tr> <td>競技利用者</td> <td>1,544</td> <td>2,800</td> <td>1,630</td> </tr> <tr> <td colspan="4">オリンピックミュージアム</td> </tr> <tr> <td>有料観覧者</td> <td>74,394</td> <td>53,700</td> <td>41,866</td> </tr> <tr> <td>無料観覧者</td> <td>27,210</td> <td>30,300</td> <td>19,063</td> </tr> <tr> <td>観覧者合計</td> <td>101,604</td> <td>84,000</td> <td>60,929</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="4">大型映像車</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免42件、還付0件</p> <p>施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。</p> <p>また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。</p> <p>※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。</p> <p>自主事業として7月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習での使用におけるジャンプ台使用料を無料とし、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めた。</p>	区分	R2決算	R3計画	R3決算	大倉山ジャンプ競技場				競技利用者	1,303	1,200	1,097	競技利用回数	80	60	48	大会・公式	18	19	18	その他催物	7	3	9	本部棟会議室	30	20	35	テレビ中継装置	7	8	8	来場者	200,621	427,000	133,246	宮の森ジャンプ競技場				競技利用者	2,975	3,000	2,764	競技利用回数	151	124	119	大会・公式	8	12	13	来場者	9,849	30,000	8,660	荒井山ジャンツェ				競技利用者	1,544	2,800	1,630	オリンピックミュージアム				有料観覧者	74,394	53,700	41,866	無料観覧者	27,210	30,300	19,063	観覧者合計	101,604	84,000	60,929	多目的ホール	0	8	0	大型映像車				利用回数	10	30	11	<p>R3年度はコロナウイルス感染症拡大防止による休業期間が昨年度よりさらに長くなり、来場者数が昨年度以上に影響を受けた1年となった。</p> <p>ジャンプ台利用者については10月以降はコロナによる休業期間がなかったこともあり、練習回数が増えていった。</p> <p>ミュージアム利用者は昨年同様無料キャンペーンが実施されたが、11月・12月の閑散期に実施されたため昨年ほどのない来場者増はなかった。</p> <p>※有料観覧者の料金区分に該当する無料期間中の利用実績は比較のため有料観覧者枠に入力した。</p> <p>年間を通して従業員及び利用者が感染防止対策に十分配慮した中で各施設が利用された。</p>	<table border="1" data-bbox="1267 524 1445 555"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>競技利用者数について、競技団体の要望に応じて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく減少し、ミュージアムについても、無料開放を実施したが、11月・12月の閑散期に実施したため、昨年度から大きく来場者が減少している。</p>	A	B	C	D
区分	R2決算	R3計画	R3決算																																																																																																
大倉山ジャンプ競技場																																																																																																			
競技利用者	1,303	1,200	1,097																																																																																																
競技利用回数	80	60	48																																																																																																
大会・公式	18	19	18																																																																																																
その他催物	7	3	9																																																																																																
本部棟会議室	30	20	35																																																																																																
テレビ中継装置	7	8	8																																																																																																
来場者	200,621	427,000	133,246																																																																																																
宮の森ジャンプ競技場																																																																																																			
競技利用者	2,975	3,000	2,764																																																																																																
競技利用回数	151	124	119																																																																																																
大会・公式	8	12	13																																																																																																
来場者	9,849	30,000	8,660																																																																																																
荒井山ジャンツェ																																																																																																			
競技利用者	1,544	2,800	1,630																																																																																																
オリンピックミュージアム																																																																																																			
有料観覧者	74,394	53,700	41,866																																																																																																
無料観覧者	27,210	30,300	19,063																																																																																																
観覧者合計	101,604	84,000	60,929																																																																																																
多目的ホール	0	8	0																																																																																																
大型映像車																																																																																																			
利用回数	10	30	11																																																																																																
A	B	C	D																																																																																																

(6)付随業務	▽ 広報業務 当社HPにイベント情報やジャンプに関する情報の掲載の他SNS(フェイスブック、インスタグラム)により情報発信の幅を広げた。 市内観光施設・ホテル等へのパンフレット設置、ポスターの掲示を依頼したり、イベント時には大倉周辺町内会や店舗にチラシの配布等を行い、施設PRと利用促進に努めた。HP上では、問い合わせ専用のメールアドレスを使用し、利用者からの問い合わせ等に対応した。 また大倉山展望台HP及び札幌オリンピックミュージアムHPについてウェブアクセシビリティに対応する仕様を継続し運営した。	HPやSNS上にタイムリーに営業情報等を掲載することができた。 また誰もが利用しやすいHP(ウェブアクセシビリティへの対応)となるよう整備を実施した。 今後は、引き続きホテルや周辺町内会にも協力を仰ぎ広報業務に努めていきたい。	A	B	C	D
	▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。					
2 自主事業その他						
▽ 自主事業	ジャンプ競技場、ミュージアムの活用 ○展望台リフト特別夜間営業の継続 日本新三大夜景及び日本夜景遺産に選ばれた大倉山から夜景を楽しんでもらうべく、夏期営業期間における夜間営業(21:00まで)を今年も実施した。 利用者数(期間合計)18,679名※うち無料期間14,900名 ○ウィンタースポーツフェスタin大倉山 →中止 例年さっぽろ雪まつりに合わせて札幌市中央区との共催で実施していたが、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ※その他集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり	新型コロナウイルス感染症の影響で多くのイベントが中止となり、当初計画どおりといかなかった。 今後は、大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を新たに実施していきたい。	A	B	C	D
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用した。 また、警備係員として障がい者1名を雇用している。	特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。				

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	A	B	C	D
実施方法	実施時期は4月～3月で展望ラウンジ内とミュージアム1階・2階にアンケート用紙を置き利用者に任意で記入したものを回収。 回答者数:201名(展望ラウンジ/0名 ミュージアム内/202名)			接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。		
結果概要	<p>【年齢】 10代(10歳未満含む):78名、20～30代:47名、40～50代:37名、60代以上:36名、無回答3名</p> <p>【来場回数】 初めて:139名、2回:37名、3～5回:15名、6回以上:10名、不明・無記入:0名</p> <p>【地域】 市内:72名、道内:17名、道外:99名、海外:4名、不明・無記入:9名</p> <p>【接客】 大変良い:110票、良い:57票、ふつう:26票、やや悪い:1票、悪い:2票、無記入5件 接客満足度98% [(大変良い110+良い57)÷(全体201-ふつう26-無記入5)=0.9824]</p> <p>【施設を知ったきっかけ】 テレビ・ラジオ等:20名、新聞・観光誌:29名 紹介:54名、インターネット:33名、旅行会社:4名、その他61名</p> <p>【次の来場】 是非利用したい:102名、機会があれば:87名 利用しない:4名、無記入:8名</p> <p>【総合満足度】 大満足:92名、満足:58名、ふつう:27名 やや不満:2名、不満:2名、無記入20件 総合満足度97% [(大満足92+満足58)÷(全体201-ふつう27-無記入20)=0.9740]</p>					
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【要望】 休憩場所が少ない</p> <p>【対応】 アネックス1階スペースのテーブルと椅子を増やした</p> <p>【その他意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間営業はすごくいいアイデアと思います。 ・清掃が行き届いていて良いと思う ・景色がとてもよかった。ジャンプ練習が見られてよかった ・コーヒー店が開いてないのは残念でした ・ソフトクリームの種類が1種類のみ(パニラ)になったのはなぜか？ ミックス・タ張メロンがあった 					

4 収支状況

▽ 収支 (千円・税抜)

項目	R3計画	R3決算	差
収入	255,192	197,263	▲ 57,929
指定管理業務収入	209,067	191,753	▲ 17,314
指定管理費	155,431	166,799	11,368
利用料金	53,636	24,954	▲ 28,682
その他	0	0	0
自主事業収入	46,125	5,510	▲ 40,615
支出	275,695	245,997	▲ 29,698
指定管理業務支出	220,494	217,777	▲ 2,717
自主事業支出	55,201	28,220	▲ 26,981
営業外収入	0	20,995	20,995
営業外支出	0	1,366	1,366
収入-支出	▲ 20,503	▲ 29,105	▲ 8,602
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 20,503	▲ 29,105	▲ 8,602

▽ 説明

・収入については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和3年度は令和2年度より休業期間が長くなったことや通年を通して来場者数が減少したことから、利用料金収入や自主事業収入(グッズショップ・カフェ収入)が想定より大幅な減収となった。
 ・支出については、コロナウイルスによる施設閉鎖に伴い、開催予定イベントの中止や来場者減によるグッズショップやカフェの利用が大幅に落ち込んだことにより、イベント開催時の委託費用や原材料の仕入費用が大幅に下がったことにより、当初計画より減少する形となった。(主に自主事業の費用削減)
 ・結果、収支については大幅な収入減とともに費用も削減されたこと、また雑収入として札幌市からの受託収入や新型コロナウイルスに伴う雇用調整助成金があったことにより、計画との大幅な乖離はなく、▲29,105千円(税抜)となる結果となった。

R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響をR2年以上に強く受けた一年となり、利用料金収入が大きく落ち込んだ。次年度においては引き続き感染防止対策を十分に取りながら収支の安定化に努めていきたい。

A	B	C	D
新型コロナウイルス感染症の影響により施設が休館となる等の影響を受け、計画よりも大幅に減収となったが、それに伴い、仕入費用が大幅に下がったことにより、収支については当初の計画との大幅な乖離は生じていない。今後も安定した収入確保及び更なる経費削減に努めることを期待する。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応 各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により国内における人員の移動が昨年度よりもさらに減少し、観光客を始めとする来場者数が落ち込んだ中、従業員一同感染防止対策に十分配慮した上で年間を通して札幌市や地域住民と連携を深めながら魅力ある施設運営に努められた。</p> <p>ミュージアムについては、上半期の新型コロナウイルス感染拡大の状況において、計画していたイベントが中止となる中、東京2020オリンピック・パラリンピック展示会、札幌オリンピック50周年記念特別展示会、北京オリンピック・パラリンピック特別展示会など2年連続のオリンピックに関連する多くの特別展示を開催し、来館者により楽しんでいただけるよう努めた。オリンピック・パラリンピック教育に関しては、1学期の実施がほぼ延期となったものの、計65校の学校の受入れを行い、各学校から好評価を受けた。また、昨年度発足した「スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト」においては、対面式の会議やミーティング、現地調査やイベントの計画が大幅に制限されたが、新たな生活様式の中でのスポーツミュージアムの可能性を考える契機となった。</p> <p>自主事業としては、昨年引き続きウィンタースポーツフェスタin大倉山が中止となった。また夜景サミット2022in札幌が3月25日に実施されたことにあわせ、3日間夜間営業を実施した。また、夏季は昨年に引き続きリフト夜間営業に合わせたシャトルバスの運行など当社運営の札幌もいわ山ロープウェイと連携しながら札幌の主要な夜景観光施設としての魅力発信及び向上に努められた。</p>	<p>ジャンプ競技場としての運営に関してはこれからも競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を継続し、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備を図っていききたい。</p> <p>ミュージアムについては、日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムだけでなく日本のスポーツ関連の博物館とも交流を深め、日本独自のスポーツミュージアムネットワークを構築し、情報共有を積極的に行いながら、オリンピック招致の機運醸成となるように教育、研究、イベント等に取り組んで参ります。またオリンピック・パラリンピック教育についてはR4年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた上で、感染拡大や積雪に伴う交通障害による緊急的な教育方法に対応できるよう、オンライン形式で教育を試験的にトライする。引き続きオリンピック・パラリンピアンと連携し授業の内容を充実させる他、オリンピック・パラリンピアンとの関係性をより拡充し、当ミュージアム独自のイベント開催と各種展示会にも繋げて参りたい。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」を念頭に施設の運営管理を行うとともに、札幌市を代表する観光施設として、更なる魅力度向上と施設の利用促進に努めていききたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。</p> <p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。</p> <p>ミュージアムについては、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、自主事業についても、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっているが、ウィンタースポーツフェスタin大倉山を継続して開催しているほか、札幌の主要な夜景観光施設としての魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」及び「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する」ことを念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRに努めていただくよう期待する。</p>	<p>本年度において、特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。</p>

令和3年度管理運営業務に係る業務の再委託

別紙 1

再委託業務内容	業務の場所
夜間常駐警備業務	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
リフト保守管理業務	宮の森ジャンプ競技場
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
シアター映像装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
インラン整備機保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(プリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイロローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
収蔵品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
展示演出定期保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

令和3年度ミュージアム調査研究事業

別紙 2

1 自主研修の場の提供

令和3年度内に小・中・高等学校・養護学校合わせて147校が来館した。
(小学校88校、中学校17校、高等学校21校、養護学校19校、高専2校)

2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

① 阿部館長のバックヤードツアー	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
② カーリングイベント in 大倉山	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
③ バイアスロン体験 in 大倉山	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
④ ノルディックウォーキング教室	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑤ 世界オリンピック・デーイベント(競歩)	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑥ トリビアサイネージ設置	観覧人数	45,751
⑦ 東京オリンピック・パラリンピック特別展示会	観覧人数	45,751
⑧ 東京2020ライブ会場出張展示	観覧人数	※コロナ感染防止のため中止
⑨ 東京2020開幕記念イベント(サッカー)	参加人数	
⑩ JOC Hybrid Event	視聴人数	269
⑪ 札幌オリンピック50周年記念事業特別展示	観覧人数	4,314
⑫ 大倉山小学校作品展	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑬ スポーツ × 工作ワークショップ	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑭ 東京2020パラリンピック開幕記念イベント	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑮ カーリングデー2021 in おおくらやま	参加人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
⑯ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	31
⑰ 東京2020オリンピック報道写真展	観覧人数	7,275
⑱ 東京2020オリンピックパネル展(男子20km競歩・女子サッカー)	観覧人数	19,064
⑲ れきぶんボランティアガイド育成講習会	参加人数	48
⑳ 札幌オリンピックこども絵画展&ミュージアムツアー	参加人数	35
㉑ 三角山小学校作品展	観覧人数	未集計 ※コロナ感染防止のため中止
㉒ 北京オリンピック・パラリンピック特別展示会	参加人数	8,658

②③ ウィンタースポーツフェスタ(阿部館長のバックヤードツアー)

参加人数 未集計
※コロナ感染防止のため中止

3 常設展示

2階ヴィジュアルストーリーコーナーの展示を更新。2階宮様コーナー優勝者名簿を更新。1階フィギュアスケート用具紹介コーナーの展示を更新。螺旋階段装飾を更新。1階ホールにフォトスポットを新規設置。

4 校外学習

- ① 大学関係・・・1校
(北海道科学大学)
- ② 高校関係・・・1校
(オリンピック・パラリンピック教育・・・みなみの杜高等支援学校)
- ③ 中学校関係・・・1校
(岩見沢市立北村中学校)
- ④ 小学校関係・・・64校(オリンピック・パラリンピック教育・・・64校、その他0校)
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立伏見小学校、札幌市立手稲鉄北小学校、札幌市立清田南小学校等)
- ⑤ 実習等・・・0校

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、可能な限り質疑応答対応をお断りしておりました。
ただし、オリンピック・パラリンピック教育に関しては、札幌市教育委員会、札幌市との協議の上、実施いたしました。

5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中(令和3年度 94件・109点登録、登録累計 14,693件・総数量39,879点)

6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

- ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究
- ・寄贈された資料の調査・研究
(オリンピック・パラリンピアン・・・岡崎朋美氏、渡部絵美氏、渡部暁斗氏等、
一般の方・・・武田圭策氏、根子香代氏、植田研史氏等
関連団体・・・(財)日本オリンピック委員会、(株)アシックス、ミズノ(株)、(株)デサント、日本体育大学等)

① 展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。

1. 内容 大倉山展望台リフト特別夜間営業
2. 期間 (1)令和3年4月29日(木)～令和3年5月2日(日) 18:00～21:00
(2)令和3年7月12日(月)～令和3年8月27日(金) 18:00～21:00
※新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策のため、8月2日～8月27日は18:00～20:00までの営業
(3)令和3年10月1日(火)～令和3年10月31日(土) 18:00～21:00
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発令のため、5月3日～7月11日及び8月28日～9月30日は臨時休館。
3. 利用者数 (1)75名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による
(2)1,697名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による
(3)654名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

② 東京オリンピック・パラリンピック特別展示会

東京オリンピック・パラリンピックのPRと日本選手団の応援ムードを盛り上げるため、公式ユニフォーム、大会関連物品、1964年東京大会のポスターやグッズなどを展示した。7月23日(金)～29日(木)の期間限定で東京2020オリンピックの聖火トーチの展示を行った。

1. 内容 東京オリンピック・パラリンピックの開催を記念した特別展示会。
2. 期間 令和3年7月19日(土)～令和3年12月31日(金)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発令のため、8月28日～9月30日は臨時休館。
3. 利用者数 45,471名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

③ JOC Hybrid Event

日本オリンピック委員会より、TOKYO2020大会成功へのサポートをいただいた世界各国オリンピックファミリーメンバーに対し、感謝の思いを伝えるレセプションとして、オンラインを中心に開催。

1. 内容 東京オリンピック・パラリンピックの開催成功をサポートいただいた関係者限定のオンラインイベント
2. 期間 令和3年8月3日(土)
3. 利用者数 269名 ※日本オリンピック委員会の実績記録による

④ 札幌オリンピック50周年記念事業特別展示

札幌市における札幌オリンピック50周年事業の一環として開催。当時使用された表彰台などの貴重な資料、大会中の名シーンや当時の札幌市の様子を振り返るパネル展示と映像放映。

1. 内容 1972年札幌オリンピック開催から50周年を迎えることを記念した特別企画展。
2. 期間 令和3年8月8日(土)～令和3年9月19日(日)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発令のため、8月28日～9月30日は臨時休館。
3. 利用者数 4,314名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑤ 東京2020オリンピック報道写真展

読売新聞が全国各地で展開する「東京2020オリンピック報道写真展」を札幌オリンピックミュージアムアネックスギャラリーにて展示。

1. 内容 読売新聞主催の東京2020オリンピック報道写真展
2. 期間 令和3年10月10日(日)～令和3年11月7日(日)
3. 利用者数 (1)7,275名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑥ さあ!まわろうSAPPORO～見どころ施設無料化キャンペーン～

札幌市の観光地や文化施設など10カ所を無料で利用できるキャンペーン。

1. 内容 (1)大倉山展望台リフト無料開放
(2)札幌オリンピックミュージアム無料開放
2. 期間 令和3年11月20日(土)～令和3年12月19日(日)
3. 利用者数 (1)49,588名 ※入館時カウント実績による
(2)24,991名 ※入館時カウント実績による

⑦ 東京2020オリンピックパネル展(男子20km競歩・女子サッカー)

東京オリンピック・パラリンピックで札幌市が会場となった競技のパネル展を札幌市の体育施設と札幌オリンピックミュージアムで開催。

1. 内容 東京オリンピックの男子20km競歩と女子サッカー競技の写真パネル展示。
2. 期間 令和3年11月29日(月)～令和4年3月21日(月)
※別施設にて展示のため、展示終了日が令和4年1月22日(土)に変更。
3. 利用者数 19,064名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑧ 北京オリンピック・パラリンピック特別展示会

北京オリンピック・パラリンピックのPRと日本選手団の応援ムードを盛り上げるため、注目選手の写真・プロ
前回大会での選手使用物品、新規採用種目の紹介、公式ユニフォームなどを展示。期間中はメダリスト速報も展

1. 内容 北京オリンピック・パラリンピックの開催を記念した特別展示会。
2. 期間 令和4年2月4日(金)～令和4年3月31日(木)
3. 観覧人数 8,658名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

令和3年度年間行事(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

企画名	開催時期	内容	備考	開催場所
1 トリビアサイネージ設置	7月19日～12月31日	オリンピックに関するクイズ、パラリンピック競技やルールについての説明、ポスターデザインやマスクなどの歴史を学ぶことができるサイネージ「トリビアボード」を設置。	パナソニックセンター東京に設置してあったものと同等品。コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言発令に伴いミュージアムが休館したため、8月28日～9月30日は開催を中止。	ミュージアム1階特別展示コーナー
2 東京オリンピック・パラリンピック特別展示会	7月19日～12月31日	大会のPRと日本選手団の応援ムードを盛り上げるため、公式ユニフォーム、大会関連物品、1964年東京大会のポスターやグッズなども展示。7月23日(金)～29日(木)の期間限定で東京2020オリンピックの聖火トーチも展示。	札幌市と共催。後援は公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会(日本パラリンピック委員会)。協力は公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会。コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言発令に伴いミュージアムが休館したため、8月28日～9月30日は開催を中止。	ミュージアム1階特別展示コーナー
3 JOC Hybrid Event	8月3日	日本オリンピック委員会より、TOKYO2020大会成功へのサポートをいただいた世界各国オリンピックファミリーメンバーに対し、感謝の思いを伝えるレセプションとして、オンラインを中心に	イベント・配信製作会社はPanasonic。	ミュージアムアネックス1階ギャラリー
4 札幌オリンピック50周年記念特別企画展	8月6日～9月19日	1972年札幌オリンピックから50周年を迎えることを記念した特別企画展。表彰台などの当時の貴重な資料、大会中の名シーンや当時の札幌市の様子を振り返るパネル展示と映像放映。	コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言発令に伴いミュージアムが休館したため、8月28日～9月30日は開催を中止。	ミュージアムアネックス1階ギャラリー
5 東京2020オリンピック報道写真展	10月10日～11月7日	読売新聞が全国各地で展開する「東京2020オリンピック報道写真展」を札幌オリンピックミュージアム アネックス1階ギャラリーにて展示。	ジャンプ大会による場所貸しのため、10月23・24日は展示を一時撤去。	ミュージアムアネックス1階ギャラリー
6 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	10月16日	ノルディックウォーキングで大倉山と宮の森の2つのジャンプ台を往復。	講師は阿部館長と日本ノルディックウォーキング協会マスタートレーナーの卓田由紀子氏。	ミュージアム1階ホールに集合・出発。宮の森ジャンプ競技場を経由して大倉山ジャンプ競技場に戻る4kmと6kmの2ルート
7 さあ!まわろうSAPPORO～見どころ施設無料化キャンペーン～	11月20日～12月19日	札幌市の観光地や文化施設など10カ所を無料で利用できるキャンペーン。	札幌オリンピックミュージアム、大倉山展望台リフトの2施設で実施。	札幌オリンピックミュージアム、大倉山展望台リフト
8 東京2020オリンピックパネル展	11月29日～3月21日	東京2020大会で札幌市が会場となった競技のパネル展を札幌市の体育施設と札幌オリンピックミュージアムで開催。	サッカー女子、男子20km競歩の写真パネルを展示。別施設にて展示のため、展示終了日が1月22日に変更。	ミュージアムアネックス1階ギャラリー
9 れきぶんボランティアガイド育成講習会	12月18日	札幌で活躍中のボランティアガイド、これからボランティアガイドを初めてみたい方を対象にした講習会にて、札幌オリンピックのレガシーについて講演。	札幌市主催。	北海道建設会館A会議室
10 札幌オリンピック子ども絵画展&ミュージアムツアー	1月5日～1月7日	「札幌オリンピック50周年記念事業」の一環として、市内の小学生とその保護者を対象として、阿部雅司名誉館長の案内のもと、札幌オリンピックミュージアム館内を巡るツアー。	市内の小学1～6年生の親子ペア 各日10組を募集。	札幌オリンピックミュージアム2階～1階、ウィンタースポーツシアター
11 北京オリンピック・パラリンピック特別展示会	2月4日～3月31日	大会注目選手の写真・プロフィールや前回大会での選手使用物品、新規採用種目の紹介、公式ユニフォームなどを展示。期間中はメダリスト速報も展示。	期間中はメダリスト速報の展示や、現地で入手した関連物品の展示など、随時更新。後援は公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会(日本パラリンピック委員会)。写真協力は株式会社アプロ。	ミュージアム1階特別展示コーナー

令和3年度ジャンプ競技場等使用実績
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

別紙 3

1 施設別一般来場者数(月別)

(単位:人)

区分	大倉山	宮の森	ミュージアム					
			総人数	大人	高齢者	団体	小中学校	免除
4月	6,750	893	1,451	911	47	28	317	148
5月	4,715	113	414	324	6	1	74	9
6月	1,325	0	0	0	0	0	0	0
7月	8,988	788	3,706	2,085	47	307	1,057	210
8月	16,122	1,109	5,287	3,353	85	107	1,473	269
9月	1,602	0	0	0	0	0	0	0
10月	17,720	1,210	7,122	2,664	152	814	2,986	506
11月	18,400	858	15,224	8,923	1,107	302	4,473	419
12月	18,735	845	15,664	10,850	1,438	68	3,061	247
1月	11,839	744	3,102	1,510	51	557	780	204
2月	11,302	900	3,125	1,729	20	98	1,054	224
3月	15,748	1,200	5,834	4,029	71	182	1,346	206
合計	133,246	8,660	60,929	36,378	3,024	2,464	16,621	2,442

2 札幌オリンピックミュージアム利用料金(使用料)関係

(1) 観覧料 16,279,210 円

(2) 多目的ホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(3) ライブラリー

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
12月27日	札幌市広報課 オリ・パラ招致を考える 座談会	—	3,540
小計			3,540

(4) エントランスホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		—	0
小計			0

(5) シアター

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
12月3日	北海道オールオリンピアンズ 講演会	—	3,300
1月13日	あいおいニッセイ同和損害保険 管理職研修	—	2,200
小計			5,500

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計

16,288,250

3 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)-1 ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	14	28,100	393,400
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	2	28,100	56,200	12月	0	28,100	0
7月	8	28,100	224,800	1月	8	28,100	224,800
8月	14	28,100	393,400	2月	0	28,100	0
9月	0	28,100	0	3月	2	28,100	56,200
				小計	48		1,348,800

(1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
7月	3	28,100	84,300	9月	0	28,100	0
8月	4	28,100	112,400	10月	3	28,100	84,300
				小計	10		281,000

(2) 公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月5日	第22回札幌市長杯サマージャンプ大会	10割減免	0
10月23日	第100回全日本選手権大会ラージヒル兼第63回NHK杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
10月29日	第34回UHB杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
1月14日	第49回HTBカップスキージャンプ競技会	5割減免	14,050
1月28日	第33回TVh杯ジャンプ大会・第63回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減免	14,050
3月5日	第93回宮様スキー大会国際競技会ラージヒル	10割減免	0
3月18日	第23回伊藤杯ファイナルナイタージャンプ大会	5割減免	14,050
小計			70,250

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月6日	第22回札幌市長杯サマージャンプ大会	10割減免	0
8月7日	チャレンジカップ2021大倉山サマージャンプ大会	5割減免	45,850
10月24日	第100回全日本選手権大会ラージヒル兼第63回NHK杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
10月30日	第34回UHB杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
1月10日	第64回HBCカップジャンプ競技会	5割減免	45,850
1月15日	第49回HTBカップスキージャンプ競技会	5割減免	45,850
1月16日	第61回STVカップスキージャンプ競技会	5割減免	45,850
1月29日	第33回TVh杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
1月30日	第63回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割減免	45,850
3月6日	第93回宮様スキー大会ラージヒル	10割減免	0
3月19日	第23回伊藤杯ファイナルナイタージャンプ大会	5割減免	45,850
小計			412,650

(4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月2日	札幌市スポーツ局招致推進部 JOC HYBRID EVENT(設営)	—	216,900
8月3日	札幌市スポーツ局招致推進部 JOC HYBRID EVENT	—	216,900
9月26日	REDBULL400	—	216,900
10月7日	『どさんこワイド179 30周年記念花火』開催	—	216,900
12月12日	NoMaps実行委員会COUGENプロジェクト花火	—	216,900
12月25日	HBC北海道放送「今日ドキッ! 年末スペシャル」内企画・打ち上げ花火	—	216,900
1月11日	株式会社エヌディーヴィ 土屋ホーム練習撮影	—	28,100
2月6日	HBC北海道放送「今日ドキッ! 年末スペシャル」内企画・打ち上げ花火	—	216,900
3月13日	アーバンスノースポーツ研究会 ストライダーエンジョイカップ	—	216,900
3月24日~26日	ノヴェロ Sapporo Night View Project		650,700
小計			2,414,000

(4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(5) 運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月25日	荒井山町内会 総会開催	—	1,820
4月30日	東京美装興業(株) 企業HP素材撮影(スキー部員)	—	1,820
8月4日	学童クラブチャランケ 昼食利用	—	910
8月20日	ミズノ(株) プロモーション撮影	—	5,460
8月23日	クリエイティブフォトスタジオエム ブライダルフォト撮	—	1,820
10月1日	ジェイ・スポーツ(原田監督インタビュー)	—	1,820
10月13日	札幌市立真駒内中学校特別支援学級(昼食利用)	—	910
10月15日	西円山病院ピッコロ保育園(昼食利用)	—	910
10月17日	聖火ランナー招待イベント取材(札幌市スポーツ局国際大会担当部)	—	6,370
10月25日	北海道テレビ放送(葛西紀明選手インタビュー)	—	910
10月25日	北海道テレビ放送(葛西紀明選手インタビュー)	—	910
10月27日	NHK日本放送局(サンデースポーツ)撮影	—	4,550
10月31日	北海道テレビ放送(高梨沙羅選手インタビュー)	—	8,190
11月6日	ディ・コンプレックス「ミライ☆モンスター」密着している選手インタビュー	—	5,460
11月7日	札幌ジャンプスポーツ少年団 父母会	—	3,000
11月9日	岩手朝日テレビ 雪印メグミルク選手インタビュー撮影	—	1,820
11月11日	札幌市立栄南中学校 昼食利用	—	910
11月21日	荒井山町内会 町内会・班長会	—	2,730
11月28日	JTB 昼食利用	—	910
12月11日	ニ科尔ソメット管理組合 ニ科尔ソメット管理組合会議	—	2,730
12月15日	札幌市立札幌北小学校 校外学習	—	910
12月27日	家庭福祉サービス「らるご」学童課外学習昼食会場	—	1,820
1月9日	北海道スキー連盟 飛型審判員研修会	—	2,730
1月13日	あいおいニッセイ同和損害保険 管理職研修	—	1,820
1月20日	共同通信社 1972年大会当時を知る方へのインタビュー	—	1,820
2月6日	日本テレビ「1億人の大質問!? 笑ってコラえて！」	—	16,920
2月14,16,24,25,28日	コンプライアンス研修(自主事業)	—	14,560
3月18日	北海道新聞社 取材	—	1,820
3月20日	荒井山町内会 荒井山町内会総会	—	1,820
3月27日	札幌ジャンプ少年団 卒団式	—	4,820
3月31日	NTC利用分	—	58,240
小計			161,240

(6) 観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	0
小計			0

(7) エントランス広場ステージ

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(8) テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月24日	第100回全日本選手権大会ラージヒル兼第63回NHK杯ジャンプ大会	-	197,000
10月30日	第34回UHB杯ジャンプ大会	-	197,000
1月9日	札幌テレビ放送「2022W・Cジャンプ特別編」	-	197,000
1月10日	北海道放送 第64回HBCカップジャンプ競技会	-	197,000
1月15日	北海道テレビ 第49回HTBカップスキージャンプ競技会	-	197,000
1月16日	札幌テレビ放送 第61回STVカップスキージャンプ競技会	-	197,000
1月29日	テレビ北海道 第33回TVh杯ジャンプ大会	-	197,000
1月30日	北海道放送 第63回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	197,000
小計			1,576,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計

6,263,940

4 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1) ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	21	28,100	590,100
5月	0	28,100	0	11月	8	28,100	224,800
6月	19	28,100	533,900	12月	0	28,100	0
7月	18	28,100	505,800	1月	7	28,100	196,700
8月	17	28,100	477,700	2月	16	28,100	449,600
9月	10	28,100	281,000	3月	3	28,100	84,300
				小計	119		3,343,900

(2) 公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
7月31日	第39回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割減免	0
10月21日	第100回全日本選手権大会ノーマルヒル	5割減免	14,050
3月3日	第93回宮様スキー大会国際競技会ノーマルヒル	10割減免	0
3月4日	第93回宮様スキー大会国際競技会ノルディックコンパイント	10割減免	0
3月7日	伊藤杯ノルディックコンパイント競技大会2022	5割減免	14,050
小計			28,100

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月1日	第39回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割減免	0
10月22日	第100回全日本選手権大会ノーマルヒル	5割減免	45,850
2月13日	雪印メグミルクカップ2021ジャンプ大会	5割減免	14,050
3月2日	第50回札幌オリンピック記念スキージャンプ競技大会	10割減免	0
3月4日	第93回宮様スキー大会国際競技会ノーマルヒル	10割減免	0
3月5日	第93回宮様スキー大会国際競技会ルディックコンバイント	10割減免	0
3月8日	伊藤杯ルディックコンバイント競技大会2022	5割減免	45,850
3月9日	第100回全日本スキー選手権大会ルディックコンバイント	5割減免	45,850
小計			151,600

(4)イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-		-	-
小計			0

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計

3,523,600

5 荒井山シャンツェ利用状況

(1)ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	4	23	10月	29	340
5月	1	3	11月	6	79
6月	16	143	12月	0	0
7月	25	267	1月	16	344
8月	24	264	2月	6	167
9月	0	0	3月	0	0
			小計	127	1,630

6 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月20日	テレビ	大倉山	㈱岩手朝日テレビ ジャンプ選手インタビュー撮影	-	15,000
4月30日	テレビ	大倉山	東京美装興業㈱ 企業HP素材撮影(スキー部員)	-	15,000
5月3日	テレビ	大倉山	㈱コスモスペース ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
5月3日	テレビ	大倉山	HTB北海道テレビ放送 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月14日	写真	大倉山	NHK東京放送局 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月19日	写真	大倉山	㈱DNPコミュニケーションデザイン 企業広報誌撮影	-	1,500
7月19日	写真	大倉山	北海道新聞 スキー連盟インタビュー取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月19日	写真	大倉山	北海道新聞 新聞記事取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月20日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 東京2020特別展示取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月23日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 東京2020特別展示取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月23日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 聖火トーチ取材 ※報道の為減免	10割減免	0
7月28日	写真	大倉山	グローヴエンターテイメント㈱ 企業広報誌撮影	-	1,500
8月3日	テレビ	大倉山	札幌市スポーツ局招致推進部 JOC HYBRID EVENT	-	15,000
8月4日	テレビ	大倉山	ZOF(ドイツ報道) ZOF GERMAN TELEVISION 報道撮影	10割減免	0
8月8日	テレビ	大倉山	北海道新聞社 新聞記事取材 ※報道の為減免	10割減免	0
8月9日	テレビ	大倉山	UHB北海道文化放送 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
8月10日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
8月12日	テレビ	大倉山	HTB北海道テレビ放送 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
8月12日	テレビ	大倉山	STVテレビ放送 報道特番『都市とヒグマ』市内俯瞰撮影	10割減免	0
8月17日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 新聞記事取材 ※報道の為減免	10割減免	0

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
8月18日	テレビ	大倉山	㈱SHOWMOV ウポポイ宣伝用広告撮影	-	15,000
8月20日	テレビ	大倉山	ミズノ(株) プロモーション撮影	-	15,000
8月23日	写真	大倉山	クリエイティブフォトスタジオエイム プライダルフォト撮影	-	1,500
9月26日	テレビ	大倉山	レッドブルジャパン REDBULL400	-	15,000
10月1日	テレビ	大倉山	ジェイ・スポーツ 原田監督インタビュー	-	15,000
10月6日	写真	大倉山	東京スポーツ新聞社 冬季競技特集撮影	10割減免	0
10月7日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 『どさんこワイド179 30周年記念花火』開催	-	15,000
10月8日	写真	荒井山 宮の森	北海道新聞社 少年団取材※報道の為減免	10割減免	0
10月15日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月17日	テレビ	大倉山	UHB北海道文化放送 聖火ランナー招待イベント取材	10割減免	0
10月17日	写真	大倉山	北海道新聞社 聖火ランナー招待イベント取材	10割減免	0
10月17日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 聖火ランナー招待イベント取材	10割減免	0
10月19日	テレビ	大倉山	nice 国交省観光資源活用プロモーション事業ムービー撮影	-	15,000
10月21日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 阿部名誉館長へのインタビュー ※報道の為減免	10割減免	0
10月23日,24日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 第100回全日本選手権大会ラージヒル兼 第63回NHK杯ジャンプ大会	-	30,000
10月22, 24, 25日	テレビ	大倉山 宮の森	岩手朝日テレビ 全日本選手権及び土屋ホーム練習取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 土屋ホームスキー部の練習撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	写真	大倉山	北海道新聞社 北京冬季五輪に向けた取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	写真	大倉山	産経新聞社 土屋ホームスキー部合同取材での練習風景撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	写真	大倉山	スポーツ報知 土屋ホームスキージャンプ選手取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	テレビ	大倉山	北海道放送 土屋ホームスキー部 公開練習取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	写真	大倉山	岩手日報社 土屋ホームジャンプチームの取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 土屋ホームスキー部の練習撮影 ※報道の為減免	10割減免	0

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
10月25日	写真	大倉山	共同通信社 インタビュー取材 ※報道の為減免	10割減免	0
10月25日26日	テレビ	大倉山	エネット 伊藤有希選手ドキュメンタリー制作(CROSSOVER)	-	30,000
10月27日	テレビ	大倉山	NHK日本放送局 サンデースポーツ 小林陵侑選手・取材企画撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
10月27日28日	テレビ	大倉山	ディ・コンプレックス 「ミライ☆モンスター」番組密着選手の練習風景の撮影	-	30,000
10月29日30日	テレビ	大倉山	フジテレビジョン 「S-PARK」小林陵侑選手インタビュー撮影	-	30,000
10月28～30日	テレビ	宮の森	「ウラ撮れちゃいました」撮影	-	45,000
10月29日30日	テレビ	大倉山	UHB北海道文化放送 第34回UHB杯ジャンプ大会	-	30,000
11月1日	テレビ	宮の森	クリーン・アンド・リバー社 テレビ番組「ウラ撮れちゃいました」撮影	-	15,000
11月3日	テレビ	大倉山	nice 札幌市札幌王撮影	-	15,000
11月4日	テレビ	大倉山	新華社東京支局 阿部館長インタビュー	-	15,000
11月4日	テレビ	大倉山	エル・エー テレビ番組「オガッタ!？」撮影	-	15,000
11月6日	テレビ	宮の森	ディ・コンプレックス 「ミライ☆モンスター」番組で密着している選手の 練習風景の撮影	-	15,000
11月6日	テレビ	宮の森	こどもンネマ 「追跡LIVE! Sportsウォッチャー」小林陵侑選手 インタビュー ※減免	10割減免	0
11月7日	テレビ	宮の森	北海道テレビ 雪印メグミルク練習風景撮影 ニュース取材 ※減免	10割減免	0
11月9日	写真	大倉山	サンス・エクリアル JetstarJapan機内誌記事掲載	-	1,500
11月9日	テレビ	宮の森	岩手朝日テレビ 雪印メグミルク練習風景撮影 ニュース取材 ※減免	10割減免	0
11月20日	テレビ	大倉山	HBC北海道放送 オリンピックミュージアム無料キャンペーンニュース取材 ※減免	10割減免	0
11月25日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 オリンピック関連記事掲載 ※減免	10割減免	0
11月25日	写真	大倉山	パナソニック産機システム パナソニック産機システム納入機器の事例撮影	-	1,500
11月26日	テレビ	大倉山	札幌市スポーツ局招致推進部 札幌オリンピック50周年記念事業「黒板アートコンテスト」に係る 1972大会思い出エピソード動画制作	-	15,000
11月28日	テレビ	大倉山	HBC ニュース取材 ※減免	10割減免	0
11月29日	写真	大倉山	共同通信社 札幌市の冬季五輪招致関連で使用 ※減免	10割減免	0

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
11月29日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 札幌市の冬季五輪招致ニュースで使用 ※減免	10割減免	0
11月29日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 ニュース取材 ※減免	10割減免	0
11月30日	テレビ	大倉山	テレビ北海道 札幌市の冬季五輪招致関連で使用 ※減免	10割減免	0
12月9日	テレビ	大倉山	札幌市総務局広報部広報課 「札幌ふるさと再発見(STV)」撮影	-	15,000
12月9日	テレビ	大倉山	プロジェクトMJ Youtube[プロジェクトMJ]撮影	-	15,000
12月11日、12日	テレビ	大倉山	ディ・コンプレックス BSフジ「旅のうた」虹と雪のバラード歌碑の取材・撮影	-	30,000
12月12日	テレビ	大倉山	NoMaps実行委員会 COUGENプロジェクト撮影	-	17,430
12月14日	写真	大倉山	北海道新聞社 北海道新聞企画撮影 ※減免	10割減免	0
12月14日	写真	大倉山	新聞配信記事 一般社団法人共同通信社 ※減免	10割減免	0
12月15日	テレビ	大倉山	STV 「どさんこワイド179」撮影 ※減免	10割減免	0
12月15日	テレビ	大倉山	北海道放送 「今日ドキ」撮影 ※減免	10割減免	0
12月17日	テレビ	大倉山	ダブルエムエンタテインメント 札幌市広報動画の撮影	-	15,000
12月20日	テレビ	大倉山	読売テレビ 2030年札幌五輪招致に伴う取材	-	15,000
12月25日	テレビ	大倉山	HBC 「今日ドキッ! 年末スペシャル」内での企画・打ち上げ花火生中継	-	15,000
12月27日	写真	大倉山	札幌市広報課 オリ・パラ招致を考える 座談会	-	1,740
1月5日	テレビ	大倉山	HBCフレックス 番組取材	-	15,000
1月6日	写真	大倉山	メディアプラネット 広報誌「やさしいまち」撮影	-	1,500
1月8日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 下川商業高校のニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
1月8日、9日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 「2022W・Cジャンプ特別編」	-	30,000
1月9日	テレビ	大倉山	共同テレビジョン 「情熱の鼓動」	-	15,000

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
1月9日	テレビ	大倉山	札幌市総務局広報部広報課 「札幌ふるさと再発見」撮影	-	15,000
1月9日、10日	テレビ	大倉山	北海道放送 第64回HBCカップジャンプ競技会	-	30,000
1月11日	テレビ	大倉山	北海道テレビ放送 ニュース放送 ※報道の為減免	10割減免	0
1月11日	テレビ	大倉山	エヌディーヴィ アデランスCM撮影	-	15,000
1月12日	テレビ	大倉山	トップシーン札幌 HTB「ビビッとキタっしょ！」番組撮影	-	15,000
1月12日	写真	大倉山	フリーライター 北海道新聞「さっぽろ10区」記事 ※報道の為減免	10割減免	0
1月14日～16日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 第61回STVカップスキージャンプ競技会	-	45,000
1月15日	テレビ	大倉山	北海道テレビ 第49回HTBカップスキージャンプ競技会	-	15,000
1月15日	写真	大倉山	道新さっぽろ10区 道新さっぽろ10区の「札幌五輪半世紀の特集」 ※報道の為減免	10割減免	0
1月20日	写真	大倉山	共同通信社 1972年大会当時を知る方へのインタビュー ※報道の為減免	10割減免	0
1月20日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 日テレ系ZIP中継	-	19,860
1月21日	テレビ	大倉山	イースト・デイリー 香港人インフルエンサーによる観光情報発信素材	-	15,000
1月25日	テレビ	大倉山	クロステレビジョン 道新ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
1月26日	テレビ	大倉山	ノアン 札幌国際プラザコンベンションビューロー サッポロMICE セールス動画・静止画の撮影	-	15,000
1月26日	テレビ	大倉山	Gear8 さっぽろMICE推進委員会事業のMICE誘致活動	-	15,000
1月27日	テレビ	大倉山	イチ・テー・ビー映像 札幌五輪50周年記念番組「ウインタースポーツの奇跡」撮影	-	15,000
1月28日	テレビ	大倉山	クロステレビジョン ニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
1月28日、29日	テレビ	大倉山	テレビ北海道 第33回TVh杯ジャンプ大会	-	30,000
1月29日、30日	テレビ	大倉山	北海道放送 第63回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	30,000
1月30日	テレビ	大倉山	JTB北海道 インフルエンサー動画取材	-	15,000

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
2月1日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 1972年札幌五輪から50周年に関するニュース取材 ※報道の為減免	10割減免	0
2月2日	写真	大倉山	文工房 北海道ローカルWEBマガジン	-	1,500
2月4日	テレビ	大倉山	日本旅行 スウェーデンの旅行雑誌「vegabond」取材	-	15,000
2月4日	写真	大倉山	読売新聞北海道支社 新聞取材 ※報道の為減免	10割減免	0
2月5日	テレビ	荒井山	札幌テレビ放送 報道取材 ※報道の為減免	10割減免	0
2月6日	テレビ	大倉山	日本テレビ 「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」	-	15,000
2月6日	テレビ	大倉山	アーバンスノースポーツ研究会 ストライダーイベント取材	-	15,000
2月8日	テレビ	大倉山	札幌市総務部 市長動画撮影 ※減免申請	10割減免	0
2月10日	テレビ	大倉山	FMノースウェーブ 北海道冬のPR動画撮影	-	15,000
2月14日	写真	大倉山	北海道国際部 海外への情報発信赤れんが通信取材撮影	-	1,500
2月15日	テレビ	大倉山	読売テレビ放送 報道番組「ウェークアップ」撮影 ※報道の為減免	10割減免	0
2月19日	テレビ	宮の森	オーテック UHBで放送する札幌市のテレビ番組	-	15,000
2月25日	テレビ	大倉山	JTB インフルエンサー動画撮影	-	15,000
2月27日	テレビ	大倉山	ジャパネットブロードキャスティング BSジャパネットの地域創生番組取材	-	15,000
2月28日	テレビ	大倉山	北海道テレビ 「イチオシ!!内札幌五輪どうなる」特集	10割減免	0
3月3日	テレビ	大倉山	HBCフレックス BSN撮影(なまラテ)新潟放送ローカル	-	15,000
3月7日	テレビ	大倉山	北海道文化放送 特別番組でのオリンピック題材としたシーンで使用	-	15,000
3月13日	テレビ	大倉山	ELC 花火の撮影	-	17,430
3月16日	テレビ	大倉山	マーヴェリック・クリエイティブ・ワークス 札幌市MICE誘致のためのプロモーションビデオ制作	-	22,290
3月18日	写真	大倉山	北海道新聞社 新聞掲載 ※報道の為減免	10割減免	0
3月27日	テレビ	大倉山	アビリング HBC「サッポロスマイル」	-	15,000
3月28日、29日	写真	大倉山	大成建設 社内報「たいせい冬号」掲載	^	3,000
計					1,098,750

7 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
8月8, 9日	(株)オーテック F戦パブリックビューイング	-	414,870
9月26日	レッドブルジャパン REDBULL400	-	105,000
10月24日	第100回全日本選手権大会ラージヒル兼 第63回NHK杯ジャンプ大会	-	37,200
10月30日	第34回UHB杯ジャンプ大会	-	37,200
1月10日	第64回HBCカップジャンプ競技会	-	39,060
1月15日	第49回HTBカップスキージャンプ競技会	-	45,260
1月16日	第61回STVカップスキージャンプ競技会	-	32,860
1月29日	第33回TVh杯ジャンプ大会	-	31,000
1月29日,30日	第63回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	84,320
3月6日	第93回宮様スキー大会ラージヒル	10割減免	0
3月20日	第22回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	-	24,800
計			851,570

大型映像車利用料金収入合計		851,570
内 訳	場内(ジャンプ)	436,700
	場内(その他)	0
	競技場以外	414,870